

山元都星雄 やまもと てるお 文藝評論家。明治四十一年一月二十日宮崎縣生まれ
(一九〇一)。九州帝國大學臨時教員養成所卒。會社員、九州書籍社長
など。戦後新日本文學會所屬。

著書『日本文学史―社會學的の見方』(昭和十二年九月十五日、第一
巻・十四年八月十日白揚社)、『日本のヒューマニズム―特に庶民
文藝に於ける』(昭和十五年八月五日白揚社)、『東洋のロマンティ
シズム』(昭和十五年十二月十日白揚社)、ガク著『世界文學物語
(第一巻)』(譯編、昭和十五年十二月十五日白揚社)、『東洋のロ
マンティシズム―浪漫主義藝術の本質』(昭和十七年二月二十五日白
揚社。前著増補改訂)、『文學概論』(昭和十八年一月二十日白揚
社)、『文學の根本問題』(昭和十八年八月十日増進社出版部)、『ロ
マンティシズム』(内題「ロマンティシズムの本質―藝術における」
昭和二十二年七月十日白揚社)等。

